

井筒俊彦全集完結記念講演会

# 未来に向けての井筒俊彦

主催：慶應義塾大学言語文化研究所 共催：三田文学会 後援：慶應義塾大学出版会

井筒俊彦はその晩年、心の故郷として日本とアジアの思想風土を強く意識しつつ、「東洋哲学」の構築を目指した。本企画はインドを出発点に中国、そして近現代の日本へとアジアを横断しつつ、井筒の「東洋」の思想と学問の、精神的根源へ向かう旅の軌跡を探るものである。

野元 晋（慶應義塾大学言語文化研究所教授）

講演内容

講演者

## 意味論としての井筒・東洋哲学



澤井義次（さわい よしつぐ）

1951年生まれ。天理大学人間学部長・宗教学科教授。『井筒俊彦全集』編集委員。専門分野は宗教学・インド学・天理教学。天理大学宗教学科を卒業後、東北大学大学院を経て、ハーバード大学大学院（宗教学）へ留学。Ph.D.（ハーバード大学）、博士（文学）（東北大学）。現在、宗教倫理学会顧問、日本宗教学会常務理事などを務める。日本宗教学会賞や東方学会賞を受賞。「シャンカラ派の思想と信仰」（慶應義塾大学出版会、2016年）、「聖者たちのインド」（共著、春秋社、2000年）など。

## 井筒俊彦の起源

——「言語と呪術」をめぐって



安藤礼二（あんど うれいじ）

1967年東京生まれ。多摩美術大学美術学部准教授。早稲田大学第一文学部卒業。2002年、「神々の闘争——折口信夫論」が群像新人文学賞優等作に選ばれ、文芸評論家としての活動をはじめる。主な著書として、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞した「神々の闘争 折口信夫論」（講談社、2004年）、大江健三郎賞と伊藤整文学賞を受賞した「光の曼陀羅 日本文学論」（同、2008年）、角川財団学芸賞とサントリー学芸賞を受賞した「折口信夫」（同、2014年）など。

## 井筒俊彦と老荘思想



中島隆博（なかじま たかひろ）

1964年生まれ。東京大学東洋文化研究所教授。東京大学法学部卒業。同大学院人文科学研究科・中国哲学専攻修士課程修了、博士課程中途退学。中国哲学と比較哲学を専門とし、最近是中国の儒教復興運動や普遍論争を主に研究している。著書に、「コスモロギア——天、化、時」（法政大学出版局）「愚の哲学——中国哲学の想像力」（筑摩書房）、「共生のブラクシス——国家と宗教」（東京大学出版会）、「荘子——鶏となって時を告げよ」（岩波書店）など。

## 井筒俊彦の哲学的遺物

——形而上学としての和歌



若松英輔（わかまつ えいすけ）

1968年生まれ。批評家。慶應義塾大学文学部仏文学卒業。2007年「越知保夫とその時代 求道の文学」にて、第14回三田文学新人賞評論部門当選。2016年「徹知の詩学 小林秀雄と井筒俊彦」にて第2回西脇順三郎学術賞を受賞。主な著作に「井筒俊彦 徹知の哲学」（慶應義塾大学出版会、2011）、「死者との対話」（トランスビュー、2012）、「生きる哲学」（文芸春秋社、2014）、「悲しみの秘義」（ナオロク社、2015）、「イエス伝」（中央公論新社、2015）など多数。『井筒俊彦全集』編集担当。

\*講演内容の詳細については、下記のwebページに掲載しておりますので、ご参照ください。



**日 時** 2016年 **9月24日(土)** 13:00 開演(12:30 開場) ~ 17:00 終演予定

**会 場** 慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎ホール(東京都港区三田 2-15-45)

**参加費** 無料 ※事前にお申込が必要です。

**申込方法** 事前に下記の Web ページからお申し込みください。

<http://www.keio-up.co.jp/160924/>

※お電話でもお申込いただけます。下記の問い合わせ先までご連絡ください。

**問い合わせ** 慶應義塾大学出版会 営業部 Tel. 03-3451-6926